

紅葉の高野山を楽しむ

秋のバス旅行に37人が参加

北区会秋のバス旅行は10月24日、37人が参加して鮮やかに色づいた真言宗の聖地・高野山の秋を楽しみましたー。

夜来の雨も上がり、晴れ間も見える朝7時30分、集合地の谷上駅を出発。しあわせの村で残りの参加者をピックアップして一路奈良へ。かつらぎ西ICで小休止のあと、車窓からミカンやカキに彩られた沿道風景を眺め、10時半過ぎには高野山奥の院に到着した。

この日のコースは奥の院ー金剛峯寺ー壇上伽藍の3大名所を巡るもの。ガイドは饒舌で愉快的な地元のおじさん。鬱蒼と茂る杉や檜の大木に圧倒されながら、奥の院の参道を散策。夥しい数の墓所・墓苑・供養塔が所狭しと林立しており壮観だ。徳川家や豊臣家、皇室、有名メーカーや企業、個人、団体、外国人…。シロアリの慰霊碑もあってびっくり。宗派を問わず受け入れられるという高野山の懐の深さに感心する。この墓石群、ざっと20万基といわれるから想像もつかない。

参道は行きかう人々で混雑状態。われらシルバーばかりでなく若いグループや外国人の姿も多い。ガイドさんの裏話や土産物の話、高野山にまつわるエピソードに耳を傾けながら、1時間半。歩き疲れたところで土産物店のレストランでやっとな昼食。メニューは精進料理のお弁当。ゴマ豆腐がうまかった。

午後は総本山金剛峯寺と壇上伽藍へ。朱色がひととき目立つ根本大塔は高野山の顔だ。インスタ映えがする建物なのか、若い人が盛んにスマホでカシャカシャやっている。行き交う修行僧もなにやら立派

▼奥の院の参道を歩くバス旅行参加者



な高僧ばかりに見える。

約半日、清浄な聖地を歩き回り、たっぷり森林浴をしたせいか体中がすっかり清らかになったような気がするの不思議だ。

15時半には帰途。道の駅でカキ・ミカンを買込む。レジ袋一杯300～500円。「安いわあ」といながら両手にぶらさげて歩く女性連れが目立つ。幸い渋滞もなく神戸まではひた走り。

道満区会長から「天候にも恵まれ、トラブルもなく、念願の高野山めぐりで楽しい一日を過ごすことができた」と締めくくりに挨拶があり、17時半にはしあわせの村に帰り着いた。

(取材 南形徹・写真 道満俊徳)

▽高野山金剛峯寺は816年、弘法大師(空海)によって開かれた真言宗の総本山。



右 高野山で人気の根本大塔
左 和気あいのバス車内

